

# 第38期 中間 株主通信

平成28年4月1日から  
平成28年9月30日まで

COFFEE & GAMES  
**CAPCOM**  
CAFE



©CAPCOM



株式会社**カプコン**

(証券コード：9697)



辻本 憲三

辻本 春弘

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第38期上期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における当業界は、ゲームとの親和性が高いVR(バーチャルリアリティ・仮想現実)端末が相次いで発売されるなど、大きな変化の兆しが現れ始めており、新規市場の創出に向けて「VR元年」と呼ばれる新たな時代を迎えてまいりました。

こうした環境のもと、当社グループは「モーションキャプチャー室」をはじめ、米国のハリウッドスタジオ並みの最新設備を有する新たな開発拠点、「研究開発第2ビル」を今年の4月から本格的に稼働させるなど、競争力の源泉である開発部

門の拡充を推し進めてまいりました。

また、当期の目玉タイトルでVR完全対応版「バイオハザード7 レジデント イービル」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)が今年6月に米国で開幕された世界最大級のゲーム見本市「E3」においてVRが話題を集める中、多数の来場者の注目を引いたほか、同じく9月に開催され歴代最多の来場者となった日本最大級のゲームの祭典「東京ゲームショウ2016」でも展示ブースが大盛況となるなど、いずれも高い評価を得たことにより主力タイトルを期の後半に投入する下期偏重の事業戦略は、確たるものとなりました。

さらに、国内で開催されたコンピュータ対戦競技「eスポーツ」のリーグ戦に当社発展の礎となったシリーズ最新作「ストリートファイターV」を提供するなど、新規ユーザーの開拓や既存顧客の深耕に取り組んでまいりました。加えて、「逆転裁判」(日本テレビ系列)のアニメ放送に続き、今年の10月から「モンスターハンター ストーリーズ」のアニメ放送(フジテレビ系列)が始まるなど、知名度の向上やブランド価値の増大等、人気ゲームとの相乗効果を創出するため、メディアミックス展開を積極的に進めてまいりました。

一方で、当期は看板タイトルを下期に集中させるため、当該期間は小型タイトル中心の商戦となりました。

なお、株主還元の一環として今年の9月に148万株の自己株式を取得いたしました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は286億76百万円(前年同期比9.4%減)となりました。また、利益面につきましては、営業利益17億15百万円(前年同期比39.7%減)とな

りました。かてて加えて、急激な円高による為替差損の発生により経常利益5億14百万円(前年同期比82.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益4億5百万円(前年同期比79.2%減)となりました。

因みに、平成29年3月期の連結業績予想は、下期に「バイオハザード7 レジデント イービル」(プレイステーション 4、Xbox One、パソコン用)および海外に照準を合わせた「デッドライジング4」(Xbox One、パソコン用)等の発売に加え、主力パチスロ機器「モンスターハンター 狂竜戦線」の投入などにより以下のとおりとなっております。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
百万円 85,000 (前期比 10.4%増)	百万円 13,600 (前期比 13.1%増)	百万円 13,300 (前期比 17.2%増)	百万円 9,000 (前期比 16.2%増)	162円53銭

なお、中間配当につきましては、株主還元の充実を図るため1株当たり10円増配の25円とさせていただきます。

今後の見通しといたしましては、VRを用いた新たな事業領域が生み出される情勢のもと、当社は、経営資源を重点部門や成長分野に投入するなど、選択と集中による経営展開により収益の向上に努めてまいります。この一環として、収益構造の多角化を図るため、家庭用ゲームソフトはパッケージ販売に加え、利益率が高いダウンロード版の拡大に注力いたします。

また、VR対応ゲームや高画質の4K映像等、家庭用ゲーム機やスマートデバイスが日進月歩で進化する中、ハードの高機能化などに対応するため、開発環境の充実や優秀な人材の確保、育成による開発体制の拡充に取り組んでまいります。

加えて、当社は「モンスターハンター」や「バイオハザード」など、パッケージソフトで大ヒットした人気タイトルを多数保有しております。オンラインゲームやモバイルコンテンツ事業の現状を打破するため、これらの豊富な優良資産を活用して市場動向に即応した訴求タイトルの開発を進めるとともに、時宜にかなった追加コンテンツの供給などにより顧客満足度を高め、需要増大に尽力いたします。

さらに、カプコングループ全体の最適化を推し進めるため、子会社を含めた事業ポートフォリオの再編など、環境の変化に対応した機動的なビジネス展開により每期安定した収益が確保できるよう、全力を傾注いたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

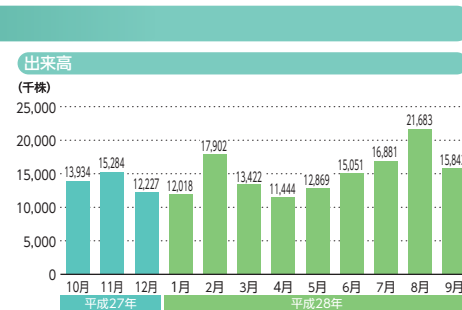
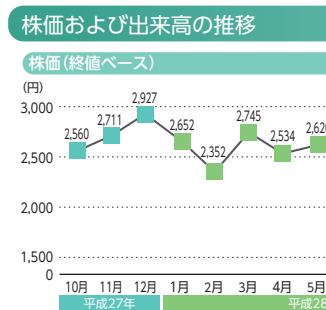
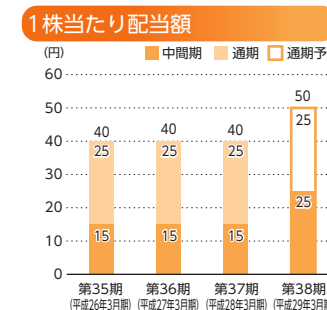
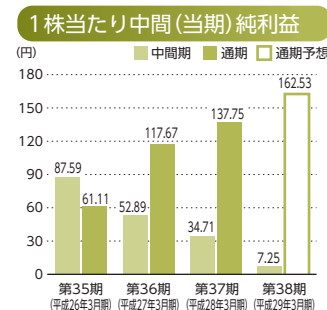
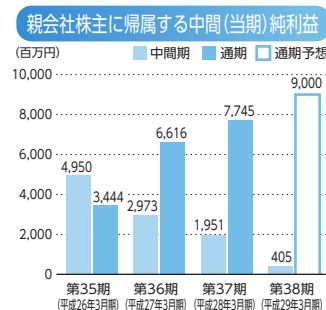
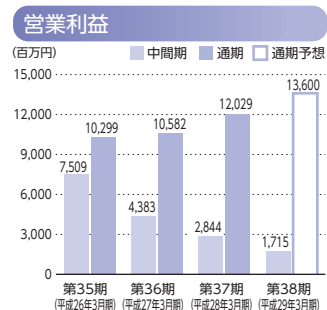
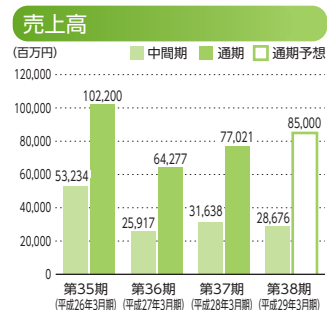
平成28年11月

代表取締役会長  
最高経営責任者(CEO)

辻本 憲三

代表取締役社長  
最高執行責任者(COO)

辻本 春弘



## デジタルコンテンツ事業

シリーズ作品「逆転裁判 6」(ニンテンドー3DSシリーズ用)がおおむね計画どおり展開したほか、人気タイトルのリメイク版「バイオハザード5」(プレイステーション 4、Xbox One用)および「バイオハザード4」(プレイステーション 4、Xbox One用)が安定したユーザーに支えられ健闘いたしました。また、海外向け「モンスターハンタークロス」(ニンテンドー3DSシリーズ用)が定着したブランド力により底堅い売行きを示したほか、「戦国BASARA 真田幸村伝」(プレイステーション 4、プレイステーション 3用)を発売いたしました。

当期は、大型タイトルの投入が下期に偏重するため、当該期間は小型タイトルやリピーター販売が大半を占めました。

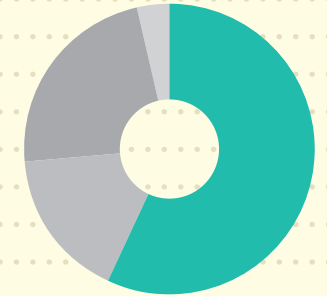
他方、オンラインゲームやモバイルコンテンツは、局面打開に向けて開発体制や運営方

法の見直しを進める中、女性中心のスタッフが開発した意欲作品のスマートフォン向け恋愛ゲーム「囚われのバルマ」(アンドロイド、iOS用)が配信開始日にアップストア有料ランキング1位となるなど、幸先のよいスタートを切りました。

この結果、売上高は163億73百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益10億99百万円(前年同期比28.3%減)となりました。

### 売上高構成比

平成28年  
9月期 **57.0%**



「逆転裁判 6」  
(ニンテンドー3DSシリーズ用)



「バイオハザード5」  
(プレイステーション 4、Xbox One用)



「バイオハザード4」  
(プレイステーション 4、Xbox One用)



「モンスターハンタークロス」  
(ニンテンドー3DSシリーズ用)



「戦国BASARA 真田幸村伝」  
(プレイステーション 4、  
プレイステーション 3用)



「囚われのバルマ」  
(アンドロイド、iOS用)

## アミューズメント施設事業

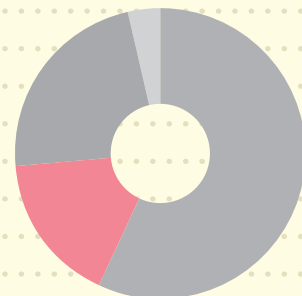
リオデジャネイロ五輪や猛暑などの一過性要因による影響がありましたものの、風適法(風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律)の改正が今年の6月に施行されたことにより、夜間の入店規制が緩和された環境のもと、各種イベントの開催や快適な店舗運営など、周辺住民に愛される地域密着型の施設展開によりリピーターの確保、中高年齢者や親子連れのファミリー等、幅広い客層の取り込みに努めてまいりました。また、新たなビジネスチャンスを開きため、キャラクターグッズ等の販売を目的とする新業態の「キャラカブ」を店舗に併設するなど、新機軸事業を推し進めてまいりました。

当該期間は、山口県に1店舗出店しましたので、施設数は35店舗となっております。

この結果、売上高は48億10百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益4億78百万円(前年同期比34.6%増)となりました。

### 売上高構成比

平成28年  
9月期 **16.8%**



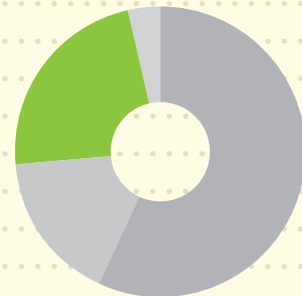
## アミューズメント機器事業

パチスロ機部門は、下期からの本格的な攻勢を控え、「デビルメイクライクロス」や「スーパーストリートファイターⅣ」を投入したほか、受託ビジネスに取り組んでまいりました。また、業務用機器部門につきましては、「マリオパーティ ふしぎのチャレンジワールド」を発売するとともに、既存商品の販売に注力しました。

この結果、売上高は65億30百万円(前年同期比46.2%減)、営業利益16億51百万円(前年同期比35.3%減)となりました。

### 売上高構成比

平成28年  
9月期 **22.8%**



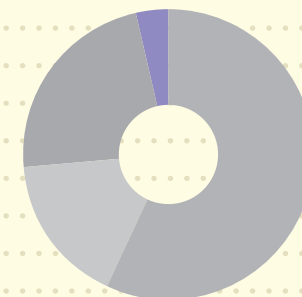
## その他事業

主なものはライセンス許諾によるロイヤリティ収入やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は9億62百万円(前年同期比21.0%増)、営業利益3億95百万円(前年同期比55.9%増)となりました。



### 売上高構成比

平成28年  
9月期 **3.4%**



「ゆめタウン徳山(山口県周南市)にオープン」



「デビルメイクライクロス」

「スーパーストリートファイターⅣ」

©CAPCOM CO., LTD. 2016 ALL RIGHTS RESERVED.  
©CAPCOM CO., LTD. 2009, 2016 ALL RIGHTS RESERVED.  
©CAPCOM CO., LTD. 2005, 2016 ALL RIGHTS RESERVED.

©CAPCOM CO., LTD. 2015 ALL RIGHTS RESERVED.  
©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.  
©CAPCOM CO., LTD., ©CAPCOM U.S.A., INC. ALL RIGHTS RESERVED.

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成27年9月30日現在)	当中間期 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)	科目	期別	前中間期 (平成27年9月30日現在)	当中間期 (平成28年9月30日現在)	前期 (平成28年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産		73,019	70,054	75,917	流動負債		23,198	22,344	22,355
現金および預金		31,255	22,260	28,429	支払手形および買掛金		3,071	1,267	4,053
受取手形および売掛金		9,727	7,337	9,879	電子記録債務		6,054	1,836	888
商品および製品		1,538	1,618	1,704	短期借入金		4,234	9,835	1,497
仕掛品		2,074	1,812	2,085	未払法人税等		970	920	6,470
原材料および貯蔵品		1,558	1,489	1,954	賞与引当金		581	653	2,080
ゲームソフト仕掛品		21,874	28,779	24,825	その他		8,285	7,830	7,366
その他		5,042	6,773	7,055	<b>固定負債</b>		<b>13,727</b>	<b>14,909</b>	<b>15,532</b>
貸倒引当金		△52	△15	△18	長期借入金		9,623	10,524	11,111
<b>固定資産</b>		<b>35,754</b>	<b>35,591</b>	<b>37,140</b>	退職給付に係る負債		2,226	2,403	2,323
<b>有形固定資産</b>		<b>17,479</b>	<b>20,390</b>	<b>20,825</b>	その他		1,878	1,981	2,098
建物および構築物(純額)		5,931	10,959	11,297	<b>負債合計</b>		<b>36,926</b>	<b>37,254</b>	<b>37,888</b>
その他(純額)		11,547	9,430	9,527	<b>【純資産の部】</b>				
<b>無形固定資産</b>		<b>11,527</b>	<b>7,285</b>	<b>8,135</b>	株主資本		<b>70,772</b>	<b>71,418</b>	<b>75,719</b>
オンラインコンテンツ仮勘定		5,354	2,931	2,395	資本金		33,239	33,239	33,239
その他		6,173	4,353	5,740	資本剰余金		21,328	21,328	21,328
<b>投資その他の資産</b>		<b>6,747</b>	<b>7,916</b>	<b>8,179</b>	利益剰余金		34,347	38,297	39,297
その他		6,826	8,026	8,257	自己株式		△18,143	△21,447	△18,145
貸倒引当金		△78	△109	△78	その他の包括利益累計額		<b>1,075</b>	<b>△3,026</b>	<b>△550</b>
<b>資産合計</b>		<b>108,774</b>	<b>105,646</b>	<b>113,057</b>	その他有価証券評価差額金		127	△9	2
					為替換算調整勘定		1,218	△2,767	△278
					退職給付に係る調整累計額		△270	△249	△274
					<b>純資産合計</b>		<b>71,847</b>	<b>68,392</b>	<b>75,168</b>
					<b>負債純資産合計</b>		<b>108,774</b>	<b>105,646</b>	<b>113,057</b>

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
売上高		31,638	28,676	77,021
売上原価		20,745	19,986	47,175
<b>売上総利益</b>		<b>10,892</b>	<b>8,689</b>	<b>29,846</b>
販売費および一般管理費		8,048	6,973	17,816
<b>営業利益</b>		<b>2,844</b>	<b>1,715</b>	<b>12,029</b>
営業外収益		153	68	304
受取利息		48	24	95
受取配当金		7	7	13
為替差益		46	—	—
その他		50	36	195
営業外費用		105	1,270	985
支払利息		58	71	119
支払手数料		29	23	59
為替差損		—	1,167	752
その他		16	7	55
<b>経常利益</b>		<b>2,891</b>	<b>514</b>	<b>11,348</b>
特別損失		33	7	197
固定資産除売却損		33	7	92
減損損失		—	—	105
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>		<b>2,858</b>	<b>506</b>	<b>11,150</b>
法人税等合計		906	100	3,405
法人税、住民税および事業税		859	751	6,377
法人税等調整額		47	△650	△2,972
中間(当期)純利益		1,951	405	7,745
<b>親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益</b>		<b>1,951</b>	<b>405</b>	<b>7,745</b>

表紙の説明

カプコンカフェ

『カプコンカフェ』は、当社ゲームタイトルから一つをテーマに限定メニューやグッズを展開する、ユーザーがゲームの世界を追体験することを目的にしたキャラクターカフェです。モンスターをモチーフにしたフードやかわいいキャラクターのスイーツメニュー、カプコンカフェでしか購入できない限定グッズも盛りだくさんご用意しております。

現在は、人気コンテンツの一つである、『戦国BASARA』シリーズとの期間限定コラボレーションを展開しております。



中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー		△1,036	△5,772	4,347
投資活動による キャッシュ・フロー		△1,251	△1,038	△1,639
財務活動による キャッシュ・フロー		1,212	2,760	△1,115
現金および現金同等物 に係る換算差額		134	△2,118	△1,160
現金および現金同等物 の増減額		△940	△6,169	431
現金および現金同等物 の期首残高		27,998	28,429	27,998
現金および現金同等物 の中間期末(期末)残高		27,057	22,260	28,429

財務ハイライト  
株主の皆様へ

事業の概況

中間連結財務諸表

IR情報  
会社データ

会社の概要

(平成28年9月30日現在)

社名	株式会社 <b>カプコン</b> (CAPCOM CO., LTD.)
設立	昭和54年5月30日
創業	昭和58年6月11日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフト、オンラインゲーム、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	332億39百万円
従業員数	連結2,951名(単体2,239名)
ホームページ	<a href="http://www.capcom.co.jp/">http://www.capcom.co.jp/</a>

株式の状況

(平成28年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 150,000,000株
- 発行済株式の総数 67,723,244株
- 株主数 13,031名
- 大株主(上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
有限会社クロスロード	5,947	10.86
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	4,546	8.30
ゴールドマンサックスインターナショナル	2,736	5.00
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	2,334	4.26
辻本良三	2,019	3.69
辻本美之	2,019	3.69
辻本春弘	2,017	3.69
辻本憲三	2,009	3.67
ジェーピーモルガンチェースバンク 380055	1,547	2.83
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,110	2.03

(注) 1.持株比率については、自己株式数(12,976千株)を控除して算出しております。  
2.有限会社クロスロードは、平成28年9月8日付で株式会社クロスロードに商号変更しております。なお、名義変更手続きについては未完了となっております。

取締役および監査等委員である取締役 (平成28年9月30日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻本 憲三
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	辻本 春弘
取締役専務執行役員	江川 陽一
取締役専務執行役員 最高財務責任者(CFO)	野村 謙吉
取締役	保田 博
取締役	佐藤 正夫
取締役	村中 徹
取締役 (常勤監査等委員)	平尾 一氏
取締役 (常勤監査等委員)	岩崎 吉彦
取締役 (監査等委員)	小田 民雄
取締役 (監査等委員)	松尾 眞
取締役 (監査等委員)	守永 孝之

(注) 1.取締役 保田 博、佐藤正夫、村中 徹、岩崎吉彦、松尾 眞および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。  
2.取締役 保田 博、佐藤正夫、村中 徹、岩崎吉彦、松尾 眞および守永孝之の各氏につきましては、株式会社東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

カプコンIRサイトのご案内 <http://www.capcom.co.jp/ir/>

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者へのインタビューやアナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて評価機関より高い評価をいただいております。



IRトピックス

いま注目すべきIR活動をメインビジュアルで視覚的に告知することに加え、最新情報が素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう、「カプコンの強み」や「事業内容」などをわかりやすくご説明しております。

ソーシャルメディア CAPCOM IR 公式アカウント

TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアを通じてプレスリリースや新聞・テレビでのメディア掲載情報などを発信しております。

IRアプリ「カプコンIR (iOS版)」

最新リリースや決算情報などのIR情報をお届けするiPhone向けアプリケーションです。資料の閲覧や保存ができるほか、IRイベントのスケジュール登録などが簡単な画面操作でご利用いただけます。  
<http://www.capcom.co.jp/ir/mobile/apps.html>

スマートフォンからもIR情報へアクセス

当社の業績概要や株式情報がスマートフォンからも閲覧できます。スマートフォンからは上記IRサイトに直接アクセスしてご覧いただけます。

「統合報告書 2016」発行

当社の「統合報告書」は、株主・投資家ならびにステークホルダーの皆様へ、年次業績と中長期的な企業価値向上に向けた取り組みをお伝えし、更なる対話のきっかけになることを目指して発行しています。編集にあたっては、国際統合報告委員会(IIRC)が発表した「国際統合報告フレームワーク」を参考にしました。また、シンプルでわかりやすい表現を目指し、重要な項目について視覚的に内容が理解できるように工夫しました。ご希望の方は当社広報IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。

株式会社カプコン 広報IR室 電話06-6920-3623

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主日	3月31日
中間配当金受領株主日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社のホームページ( <a href="http://www.capcom.co.jp/">http://www.capcom.co.jp/</a> )に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所

### ● ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しており  
ます。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。